

地域防災人材育成プログラム (2回シリーズ)

第1回「火災をどう防ぐ？～最新の火災事例から学ぶ～」

東京理科大学創域理工学研究科国際火災科学専攻 教授

講師：桑名一徳 氏
(くわな かずのり)

2000年、東京大学大学院工学系研究科博士後期課程を修了し、博士(工学)を取得。
米国ケンタッキー大学研究員、東京大学特任講師・特任准教授、山形大学准教授・教授を経て、2021年より現職。
火災や爆発といった現象のしくみを解き明かす研究に取り組んでいる。これらは大規模な燃焼現象のため、実験やコンピュータシミュレーションでそのまま再現することは容易ではない。そこで、小さなスケールで再現する模型実験や数値モデルを活用し、現象の理解と災害対策に役立てることを目指している。



(概要) 火災にはさまざまな種類があります。例えば、近年増加している山林火災では、樹木や落ち葉などの可燃物が大量に燃焼します。また、河川に囲まれた地域では、水害に起因する火災が発生することもあります。さらに、電車や航空機内において、リチウムイオン電池の発煙・発火事故が増加しています。
本講演では、これら多様な火災のメカニズムを解説するとともに、その予防策や発生時の適切な対応について考えます。

9月12日(土)14:00～16:00

第2回「近年の豪雨災害の特徴と必要な備え」

東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科 講師

講師：柏田仁 氏
(かしわだじん)

河川工学・水理学を専門とし、洪水氾濫などの水害を対象に、現地観測とコンピュータシミュレーションを組み合わせた研究を行っている。近年は、気候変動に伴う激甚化する豪雨災害や、風・波を含めた複合災害の解析、市民撮影映像を活用した新しい河川観測技術の開発に取り組む。安全・安心な社会づくりに向けて、防災・減災技術の高度化を目指している。



申込方法：右のQRコードからアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。



(概要) 気候変動の影響により水害が激甚化・頻発化しています。河川と文明や都市の発達とは切っても切り離せない関係にあります。河川の振る舞いの変化したとき、都市のあり方やそこに住まう人々の暮らし方も見つめ直していかなければなりません。本プログラムでは、近年の水害を振り返ってその特徴を明らかにするとともに、野田市・流山市がどのような条件下にあるかを俯瞰し、必要な備えについて考えます。

9月26日(土)14:00～16:00

会場参加枠：40名

(9月12日(土)開催の包括連携講演会に参加される方の中で、地域の町内会活動で積極的に活動されている方、消防団の方、市職員の方に限らせていただきます)

場所：東京理科大学 野田キャンパス7号館6階会議室2

参加費 無料

注1 感染症、天候等の状況により、延期となる可能性があります。
注2 会場にお越しの際は、駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。
注3 会場へのお越しには東武野田線とつくばエクスプレスをご利用ください。

(東武野田線運河駅より徒歩8分)



お問合せ：東京理科大学野田統括課 地域連携室 平日8:30-17:00

☎：04(7122)9137 E-mail：noda_toukatsu@admin.tus.ac.jp

※申込開始 8月1日(土) ※申込締切 9月16日(水)